

2013年（平成25年）度 第2回常務理事会記録

日時 2013年（平成25年）3月27日（水） 12:05～14:30

場所 サンポートホール高松 64会議室

出席者：高田邦昭（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、渡辺雅彦（以上常務理事）、竹田 扇、寺田純雄、仲嶋一範（以上常任幹事）、天野恵子、中村 聰（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

2013年（平成25年）度第1回常務理事会（平成25年2月9日開催）記録（案）

2013年（平成25年）度第1回理事会（平成25年2月9日開催）議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

（1）会員異動報告

平成25年2月分（入会者 正会員3名、学生5名、退会者 正会員 1名、名誉会員1名）

鈴木卓朗氏（聖マリアンナ医科大学名誉教授/永年会員） 平成24年8月26日逝去（享年75歳）

（2）年会費納入状況について（長期未納者への対応について）

代議員でかつ4年未納者がいることが報告され、督促を行うこととした。前回警告書を送付した会員のうち未納者に関しては会員リストから除くこととした。2年、3年未納者には役員から直接注意を喚起することとした。

（3）学会宛文書類について

① 通知・依頼：厚生労働省より「第65回保健文化賞候補者の推薦について（協力依頼）」他30件の通知・依頼あり。

② 書籍・定期通信等：IFAAより「LEXUS: The Newsletter of the IFAA」他10件あり。

（4）一般社団法人移行について

資料に基づいて説明があり、手続き進行状況の確認が行われた。

（5）その他

特になし。

2. 編集報告（渡辺編集担当理事）

（1）解剖学雑誌及びASI刊行報告及び刊行予定

資料に基づいて説明があり解剖学雑誌は1, 2号が合併して総会プログラムと同梱で送付されたことが報告された。

（2）その他

特になし。

3. 企画・涉外報告（河田企画・涉外担当理事）

（1）第118回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況報告

資料に基づいて報告があった。

（2）生物科学学会連合報告

第22期学術会議の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープランに関する報告と説明があった。

（3）日本医学会報告

基礎医学系学会の分担金軽減に関する報告があった。

（4）IFAAについて

役員人事に関する過去の経緯が説明された後で、日本解剖学会が向後どのようにIFAAに参加するかに関して意見交換があった。結論として、脱退はせずに何らかの形で関係を継続することとした。

（5）第125回米国解剖学会学術大会について

本年ボストンで開催される同大会には次期理事長の河田理事が参加することが報告された。

（6）その他

APICAの次期集会は2015年にインド・チェンナイが開催候補地の一つであることが紹介され、日本解剖学会も協力していくことが表明された。役員の参加旅費に関する意見交換と確認がなされた。

4. 会計報告（牛木会計担当理事）

（1）平成25年度中間決算書について

資料に基づいて説明があった。

- (2) その他
特になし

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について

岡部理事より資料に基づいて説明があり、審議の結果満場一致で承認された。

2. 教授就任による代議員について

九州大学三浦岳氏に関して、本人に申請内容の確認を行った上で手続きを進めることが決定された。

3. 平成24年度決算および業務監査報告の件

牛木理事より資料に基づいて説明があり、黒字に関しては特別事業積立繰越支出として積み立てたこと、一般社団法人に移行するまでの3日間が別会計になっていること、が報告された。審議の結果承認された。

4. 会計監査人の設置と定款改正について

牛木理事より資料に基づいて説明があり、審議の結果満場一致で承認された。また、定款改定の具体的手続きに関しては次期執行部に委ねることとした。

5. 平成25年度予算の件

牛木理事より資料に基づいて説明があり、次期決算から報告書の書式がかわること、振興基金が一般会計に繰り入れとなることが説明され、承認された。また、総会資料の乱丁が指摘され、その対応に関して意見交換を行った。

6. 平成25年度定時社員総会資料、議長および議事進行の確認

岡部理事より資料に基づいて変更点に関しての説明（各委員長報告がなくなったこと、副議長・書記がなくなったこと、議事録署名人は監事と副会頭という職名指定となったこと）があり、審議の結果満場一致で承認された。また、当日別添資料の追加が確認された。進新役員承認後に河田新理事長から就任の挨拶をすることとした。

7. 日本学術会議による第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープランについて

高田理事長より資料に基づいて説明があり、承認された。

8. その他

河田理事より以下の2点に関して報告と議事提案があった。

(1) 篤志解剖全国連合会（全連）と財団法人篤志献体協会（献協）の関係について説明があり、後者が公益法人として認定されたこと、同団体がサージカルトレーニングやコメディカル教育に献体を積極的に利用する方針であることが報告された。

(2) 肉眼解剖トラベルアワードに関して、教職員の出張旅費支払いとの制度的摺り合わせが必要であること、対象をミクロにも広げるべきである、という提案があった。これに関して種々の意見交換が行われた。

以上